



島根大学の先端技術を、社会の力に ～最新研究と知財戦略で未来を拓く～

オープンイノベーション推進本部 准教授 辻本 和敬
准教授 小林 只

島根大学では、世界水準の質の高い研究活動を展開しています。生命科学から工学、人文社会科学まで、多岐にわたる分野での最先端の研究成果は、国内外の学会で高く評価されるだけでなく、私たちの暮らしや社会を支える産業界にも大きなインパクトを与えています。ただし、大学技術の産業界への導入には、大学が不得意とする「製品開発（多くの投資が必要）」という関門があり、研究成果だけを紹介しても産業界としてはなかなか受け入れにくい状況があります。そこで、オープンイノベーション推進本部では、研究成果を知的財産権（特許権など）として適切に保護・管理し、企業がその価値を活用しやすいように環境を整備しています。これにより、大学の研究と産業界のニーズを結びつけ、新たな価値創造を促進しています。特に、発明に至る前段階から「発明相談」として対応し、それが将来、産業界で花開く可能性を共に探ります。競争の激しい市場で勝ち抜くために、研究成果を戦略的に知的財産権として確保することは、社会実装への道を切り拓く上で極めて重要です。

これらのオープンイノベーション推進本部の活動により、島根大学の最新研究の成果が今後の産業全体の発展に寄与できると確信しています。



和田教授（医、左2人目）が考案、企業と開発した動物実験VRシステム完成、市場投入の記者会見